



システム制限値の見直しについて

2012年9月27日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. システム制限値の見直し

第6次NACCSにおけるシステム制限値については、WG委員の皆様へのアンケート結果等を踏まえ、以下のとおり見直すこととする。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	システム制限値の見直し	
2. 現行仕様	システムで処理可能な入力欄（処理件数）及びDB保存期間について、現行システムにおける性能の確保、DB容量の制限から、上限値を定めている。	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	利用者から制限値の拡大のニーズがある。	
4. 次期仕様	利用者のニーズ、システムの費用対効果を考慮し、制限値の拡大が必要である内容について、入力欄（処理件数）及びDB保存期間についてシステム制限値を現行システムより拡大する。 なお、今回提示する制限値はあくまで目標値であり、最終的な値は、今後詳細仕様での検討を踏まえ決定する。	
5. その他		

2. システム制限値（処理件数）の見直し

項番	項目	Air/Sea	現行	次期（案）	対応理由・対応方法
1	輸入申告業務の欄数	Air/Sea	50欄	100欄 （※）	恒常的に50欄を超える申告を行う利用者が存在する為。 （※）輸出入申告業務の欄数拡大についての詳細はスライド4、5参照。
2	輸出申告業務の欄数	Air/Sea	50欄	100欄 （※）	
3	1貨物の分割（スプリット）便数（輸入）	Air	20欄	30欄	実運用上頻繁に発生するケースがあり、運用対応が困難である為。
4	1貨物の分割（スプリット）便数（輸出）	Air	20欄	30欄	
5	1便あたりの旅客数	Air	700人	1000人	LCCのA380の運航を想定して対応する。
6	貨物業務の重量の桁数	Sea	整数部6桁 小数部3桁	整数部8桁 小数部3桁	1B/Lあたりのコンテナ本数の拡大により桁数不足が発生している。輸出入申告業務を含む海上業務全般について重量の桁数を変更する。
7	1コンテナあたりのB/L件数	Sea	100件	200件	実運用上、100件を超えるケースが存在する。
8	1船舶あたりの運航情報件数	Sea	1件	3件	日-韓間を運航する船舶の場合に、前の運航情報を使用中に次の運航情報に対する事前提出情報の登録を行うことができなくなってしまう為。運航情報の登録件数の増加については、運用面も含めて整理を行う。

3. システム制限値（DB保存期間）の見直し

項番	情報名	Air/Sea	データ保存起算の契機	起算日	現行※	次期(案)※	対応理由
1	輸出申告	Air/Sea	事項登録実施時	事項登録実施時	*6日	*10日	事項データが申告前に消えてしまうケースに対応する為。
2	輸入申告	Air/Sea	事項登録実施時	事項登録実施時	*6日	*10日	事項データが申告前に消えてしまうケースに対応する為。
3	貨物情報	Sea	MFR業務実施時	入港年月日	*6日	*14日	台風等で大幅にスケジュールが遅延し、入港日が遅れた場合に貨物情報が消えてしまうケースに対応する為。
4			①バラ貨物で輸入等許可時 ②コンテナ詰貨物で輸入等許可により搬出時	①輸入等許可日 ②搬出日	*6日	*14日	1B/L複数コンテナの貨物に対して、輸入許可後、コンテナの引取り毎にDOR業務を複数回行う場合に、途中で貨物情報が消えてしまうケースに対応する為。
5			ECR業務実施時	搬入予定日	*7日	*14日	搬入予定日から貨物の到着が遅れるケースに対応する為。
6	コンテナ	Sea	①DMF業務実施時 ②実入コンテナでCLR業務の船積処理実施時	①入港年月日 ②CLR業務実施日	*6日	*14日	台風等で大幅にスケジュールが遅延し、入港日が遅れた場合に貨物情報が消えてしまうケースに対応する為。
7	修正申告	Air/Sea	AMA業務実施時	事項登録実施時	*6日	*10日	事項データが申告前に消えてしまうケースに対応する為。

(※) *印は日曜・祝日を除く日

4. 輸出入申告業務の欄数拡大について

輸出入申告業務については、欄数の拡大要望が寄せられているが、システムの性能及び利用者の利便性等を考慮した場合、現状の申告業務について一律に欄数を拡大することは、適切ではないと考えられる。

このため、輸出入申告業務の欄数拡大への要望に対しては、次のとおり対応する。

【欄数拡大への対応方針】

- ◆ 「輸入申告事項登録（IDA）」業務及び「輸出申告事項登録（EDA）」業務の入力欄数は、現行システムの同様の50欄を予定している。
- ◆ 一方、欄数拡大の要望に応えるため、現行のIDA業務、EDA業務とは別に、多欄数用の申告事項登録業務を新規に作成する。
- ◆ ただし、新規の多欄数用の申告事項登録業務は、IDA業務、EDA業務よりも処理が遅くなる可能性がある。
- ◆ 多欄数用の申告事項登録業務の入力欄数は100欄を基本とする。

5. 輸出入申告業務の欄数拡大のイメージ（輸入申告事項登録業務の場合）

IDA業務

大額/少額

申告番号

	品目番号	原産地
01	<input type="text" value="1001 00 1002"/>	<input type="text" value="US"/>
02	<input type="text" value="1602 60 2002"/>	<input type="text" value="CA"/>
⋮		
49	<input type="text" value="1601 60 1002"/>	<input type="text" value="CA"/>
50	<input type="text" value="1001 00 1002"/>	<input type="text" value="CA"/>

50欄未満の入力しか行わない場合は、IDA業務から輸入申告を実施。

入力控
+
申告番号の払い出し

(仮) IDA02
業務

大額/少額

申告番号

	品目番号	原産地
001	<input type="text" value="1601 60 1002"/>	<input type="text" value="US"/>
002	<input type="text" value="1602 60 2002"/>	<input type="text" value="CA"/>
⋮		
099	<input type="text" value="1601 60 1002"/>	<input type="text" value="CA"/>
100	<input type="text" value="1001 00 1002"/>	<input type="text" value="CA"/>

51欄以上の入力を行う場合は、新規業務（多欄数用）から輸入申告を実施。

入力控
+
申告番号の払い出し

NACCS

送信

受信

送信

受信

参照・更新

輸入申告DB